2021年8月7日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第9章26～34節

・引用：第5章16節、第13章13～16節、第11章16節

皆さん、おはようございます。我々のテーマは5章の16節。前回の復習をします。

5-16 77ページ

*だが真の自我を知ることによって無明の闇を打ち破った人は、その真智によって至高者の存在を明らかにする。ちょうど太陽が万物を明らかに照らすように。　//5-16*

ギャーニャーネーナ　トゥ　タド　アギャーナン　イェーシャーン　ナーシタム　アートマナハ　/　テーシャーム　アーディッテャヴァッジ　ギャーナン　ブラカーシャヤティ　タット　パラム//

今までブラフマンについて説明しています。

アートマンは前に説明しました。

パラム、一番偉大なもの＝ブラフマンです。

13-13 164ページ　（注：マーハーラージの本は13―2）

*さて永遠の生命を得るために、人がどうしても知らねばならぬもの、つまり無始無終の大霊ブラフマンについて説明しよう。まず、それは有と無を超越した存在である。 //13-13*

ナサット、ナアサット

存在しているとも言えない、存在していないとも言えない。

次は、13-14

*あらゆる処にその手や足があり、目も頭も口もそして耳も、宇宙の至る所にもっている。つまり、それ（ブラフマン）は、宇宙全体を覆いつくし、充満している。//13-14*

すべての生き物の手、足、頭、顔、耳＝すべての感覚、心、全部がブラフマンです。

**アルジュナが見たもの**

11章 135ページ

タイトルを見てください。

（至上神の）宇宙的形相拝見の道：ヴィシュヴァルーパ・ダルシャナ・ヨーガハ

ヴィシュヴァ　宇宙

ルーパ　形

ダルシャナ　見る

10章　123ページ

タイトルを見てください。

超越者認識の道：ヴィブーティ・ヨーガハ

ヴィブーティ　超能力　特別な性質

水には、川、池、湖、海もあります。その中でシュリー・クリシュナは海です。

山に、モンブラン、スイスにあります。日本の一番高い山は富士山です。

ヴィブーティ・ヨーガの中でシュリー・クリシュナは言っています。私は宇宙のすべての山の中でヒマラヤです。

一番特別、一番大きい、一番広いからです。

人間の中ではシュリー・クリシュナは王様です。(10-27)

アルジュナは印象のためにシュリー・クリシュナの宇宙的な形を見たいと思いました。

クリシュナは見せました。

11章16節 139～140ページ

*私には、無数の腕、無数の腹、無数の口や目をもった、あなた様の広大無辺なお姿が見えるだけで、その終わりや、中間や、初めは、私には全く見えません。おお全宇宙の主よ！//11-16*

本当にアルジュナは神様シュリー・クリシュナの宇宙的な形を見ました。

アルジュナは見たいとお願いしたので、シュリー・クリシュナはその姿を見せました。それを見てアルジュナはとても怖がりました。沢山の手、目、顔を見て怖かった。そして人間の形に戻ってくださいと祈りました。体、心、霊的な準備がないと怖いです。

同じように、シュリー・ラーマクリシュナがスワーミー・ヴィヴェーカーナンダに会ったばかりの頃、（ヴィヴェーカーナンダを）触って全部宇宙を無くなった状態になりました。宇宙が消えてます。（ヴィヴェーカーナンダは）自分も消えてます。周りも消えてます。それで怖がっています。「あなた何をしましたか」とシュリー・ラーマクリシュナに言いました。とても怖かったのです。ラーマクリシュナはヴィヴェーカーナンダをもう一度触ると、普通の状態、無知の状態に戻りました。マーヤーの状態に戻りました。本当の足、手、ブラフマンの目、デモみたいです。

**ブラフマンを理解する**

*それはあらゆる感覚器官の働きの中に現れるが、それ自身は感覚器官を持たず、他と関係なく自立していながら一切のものを支えており、物質性を持っていないのに、それのもたらすものをすべて楽しんでいる。 //13-15*

サラヴェーンドリヤ・グナーバーサン　サラヴェーンドリヤ・ヴィヴァルジタム/アサクタン　サルヴァ・ブリッ　　チャイヴァ　ニルグナン　グナボークトリ　チャ//

サラヴェーンドリヤ・ヴィヴァルジタムは7月に話しました。

ブラフマンのすべての感覚器官があります。すべてのグナがあります。マーヤーの影響で印象が出ています。

Adhyasa　 重ね合わせる：ヴェーダーンタの中でいつも使っています。

Adhyaropa 〃

本当のものに別のものを重ね合わせる。たとえば本当はブラフマンですけど、ブラフマンに宇宙を重ね合わせています。

マーヤーの影響で宇宙を重ね合わせています。

１つの手、目、頭、顔、耳、それはすべて宇宙的なものです。

縄と蛇、縄が本当のものです。それに蛇を重ね合わせています。

サクタ　執着

アサクタ　無執着

バガヴァッド・ギーターの中にアサクタはいっぱい出てきます。シュリー・クリシュナはアルジュナにアサクタ（無執着）になって自分の義務をして下さいと言います。

ブラフマンは宇宙の中にいますけど、アサクタ、執着はありません。あるものある人に自分を同一視しますと、執着が始まります。お父さんお母さんは、自分の息子娘を同一視しますから執着になります。お金持ちはお金を同一視しますと執着になります。我々は好きなものを同一視しますから、執着が出ます。同一視しないでお金を使うこともできます。

執着なしで関係があると問題がありません。関係と執着は一緒、一緒でない。執着がなくても関係はできます。

お釈迦様と弟子たち、イエスと弟子たち、シュリー・ラーマクリシュナと弟子たち　みんな深い関係ありましたけど執着はありませんでした。

家住者と本当のお坊さんの違いです。

本当のお坊さんだったら、皆さんのことを愛してますけど執着はありません。弟子、弟子でない人も愛します。

執着がありますと苦しみ、悲しみ、失望、色々な問題が出てきます。

ブラフマンは宇宙の中にいますけど、宇宙はブラフマンが創造しましたが執着はありません。

ブラフマンは我々を創っています、我々をとても愛してますが執着はないです。

シュリー・クリシュナは言いました。アルジュナ、私は願いは何もないですけどいつも働いています。私が働かないと、この宇宙は続きません。

例えば太陽は現れない。面倒をみないといけないです。月の仕事、雨の仕事、雨の神様、自分の仕事をしないと、宇宙は続かない、破壊されます。でも、私の特別な執着がない、願いもない。

マクロレベルはそれです。ミクロレベルを考えて下さい、我々も同じやり方でできます。

ブラフマンのやり方（我々の理想）をに従いますと何も問題がありません。

Dehasthah api nadehastha

あなたは体の中に住んでいるけど住んでいない。

体を自分と同一視していないですから、その存在があっても存在がありません。

お母さん、お父さんは子どもたちを養っています。ですけど執着しない。ちっとも難しいですが。ですけれどその種類の信者例があります。理想的な家住者。

面倒みてます、愛しています、養っています、ですけど執着はありません。

ブラフマンは自分が創造者ですから、自分が（創造したものを）養わないと。近所の人が代わりに自分の子供の面倒はみてくれません。

どなたが面倒みますか？ 悪魔はみません、悪魔を創ってないですから。

ブラフマンはグナ、サットワ、ラジャス、タマスがありません。意味は、ありますけどその影響はないです。サットワ、ラジャス、タマスは神様から出ていますが、ブラフマンはその影響がないです。

１つ「ラーマクリシュナの福音」の中に有名な例があります。

とても面白い例です。蛇です。夏のとき逗子で毒がない蛇を見ています。

毒がある蛇は、普通は見えないです、夜出ます。

蛇の喉の中に毒がありますけれど、蛇はカエル食べます。蛇の喉には毒があっても、その時毒の影響が蛇にはありません。蛇は死んでません。人間は体の中に毒が入ると直ぐに死にます。

同じようにブラフマンの中に３つのグナ、サットワ、ラジャス、タマスありますけど、その影響がありません。

ニルグナ＝グナがない

1. ブラフマンは純粋な意識ですからグナはありません。
2. グナがあってもその影響がありません。

２つの意味があります。

すべてのものを支えてますけど、支えたものに神様の影響は何もないです。

例えば、太陽と月は植物を養ってます。植物には日光、月の光が必要ですが、太陽、月は植物の影響はありません。例えば、太陽と月の光で果物やキュウリが出来ています、花が咲いています。しかし、太陽や月にその影響はありません。その感じで、ブラフマンは養ってますけれども、その影響はないです。

けれど、無くても、マーヤーの影響で我々には、ブラフマンにグナがあるイメージ出ています。マーヤーの影響で、サットワ、ラジャス、タマスをブラフマンに重ね合わせています。グナあります。

イルージョン。ブラフマンには何もないです。

大事なことは、重ね合わせたものの基礎は実在です。

例えば、縄に蛇を重ね合わせてます。蛇は幻です。縄は幻ではなく実在です。

蜃気楼の幻で水が出ます。砂漠の砂に日光の反射で幻が出ています、湖の幻。砂と日光は実在です。

同じ様に、ブラフマンに宇宙を重ね合わせてます。宇宙は幻ですが、宇宙の基礎のブラフマンは実在です。

我々は３つグナを味わっています。（グナによって）楽しみと苦しみの経験をします。あるとき楽しんでますが、あるとき苦しんでます。

どうして我々はそうしてますか、我々はアートマンです。

ヴェーダーンタでは２つの言葉を使っています。

Jiva-Atman

Shuddha-Atman　純粋なアートマン

Jiva-Atman

アートマンはいつも純粋です。今の我々の状態はjivaの状態です。Jivaの定義はなんですか？ アートマンはいつも純粋な意識ですが、マーヤーの影響で体、感覚、心、知性、自我を同一視しています。その時そのアートマンをjiva-atmanと言っています。

同一視していますから、楽しみ苦しみを経験します。

Shuddha-Atman純粋なアートマンです。

識別して、非同一視（自分と体・心・知性・自我）しますと、Shuddha-Atman になります。Pure-Atman、マーヤーがなくなります。その経験、それが悟りです。

Dehasthah api nadehastha

体の中に住んでいますけど体は関係ないです。

私の本性はなんですか？ Shudda-Atmanです。

マーヤーの影響でJiva-Atmanが出ますから、その前後関係でShudda-Atmanがあります。そのイメージが出ないと、霊的な実践が出来ないです。

マーヤーの影響、幻がなくなりますと自分の本性が分かります。本性は純粋なアートマンShudda-Atmanになります。

次は、13-16です。

*それ（ブラフマン）は、すべてのものの内にも外にもあり、不動でありながら動き、はるか遠くにも極めて近くにも在り、その精妙さはとても肉体感覚では認識できない。//13-16*

バヒル　アンタシュ　チャ　ブーターナーム　アチャラン　チャラム　エーヴァ　チャ/スークシュマットヴァート　タド　アヴィジュニェーヤン　ドゥーラスタン　チャーンティケー　チャ　タト//　13-16

バヒル　外

アンタ　中

チャ

ブーターナーム　すべての生き物

アチャラン　歩いていない、動いていない

チャラン　動いている

スークシュマ　とてもとても精妙、微妙なもの

タド　 それ＝ブラフマン

アヴィジュニェーヤン　わかることできない

ドゥーラスタン　遠い

チャ　　　　　　また

アーンティケー　近い

ギーターの中にサンスクリットのいろいろな言葉の意味が入っています。日本語の翻訳は簡単になっています。そうしないと複雑になりますから。

後で協会のホームページにアップロードしますから、興味あったらサンスクリットの勉強もできます。言葉がわかりますと自分で理解することが結構できます。

バヒル アンタシュ チャ：ブラフマンは外にもある、中にもあります。

例えば耳に金の飾りがあります。金の飾りは中も金、外も金です。

別なイメージ、海の波は、外も水、中も水です。

ブラフマンもそうです。外もブラフマン、中もブラフマンです。ブラフマン以外なにもないです。

二元論的、たとえばキリスト教ではサタン・デビル・悪魔と、神様の２つ存在があります。

ヒンズー教にももちろん二元論があります。

ブラフマンは非二元論です。ブラフマン以外別な存在は何もないです。マーヤーはブラフマンから出ています。マーヤーはブラフマンから出てますが、マーヤーは幻です。本当はマーヤーは存在しません

。

アサット＝ないです。無知があるとき我々はマーヤーがあります。無知がなくなりますと、マーヤーもなくなります。マーヤーがある時、宇宙があります。宇宙は名前、形、性質、行動、全部あります。

マーヤーがある間は絶対そのイメージがあります。みんなバラバラ、別々です。

しかし、悟りますとマーヤーがなくなります。すべての形、すべての色、すべての名前、すべての言葉がなくなります。ブラフマン以外は存在がなくなります。外から見ますと別々に見えますけどその存在はないです。

海、波が別々に見えますけど、本当は海以外はありません。波の形と名前は一時的です。現れてます、消えてます。けれど海は無くなりません。ブラフマンは外にもブラフマン、中にもブラフマンです。

生き物と物、すべての物は動いているか動いていないか２つに分けられます。

Caram=Jangama 動いている

Acaram=Sthabara　動いていない

シュリー・クリシュナは、10-25で「私は、動かぬものの中ではヒマーラヤである」と言っています。動いているものもブラフマンです。動いていないものもブラフマンです。

偉大なものと言ってもわからないですからイメージしやすいように詳しく説明しています。

例外はなにもない、すべてはブラフマンです。